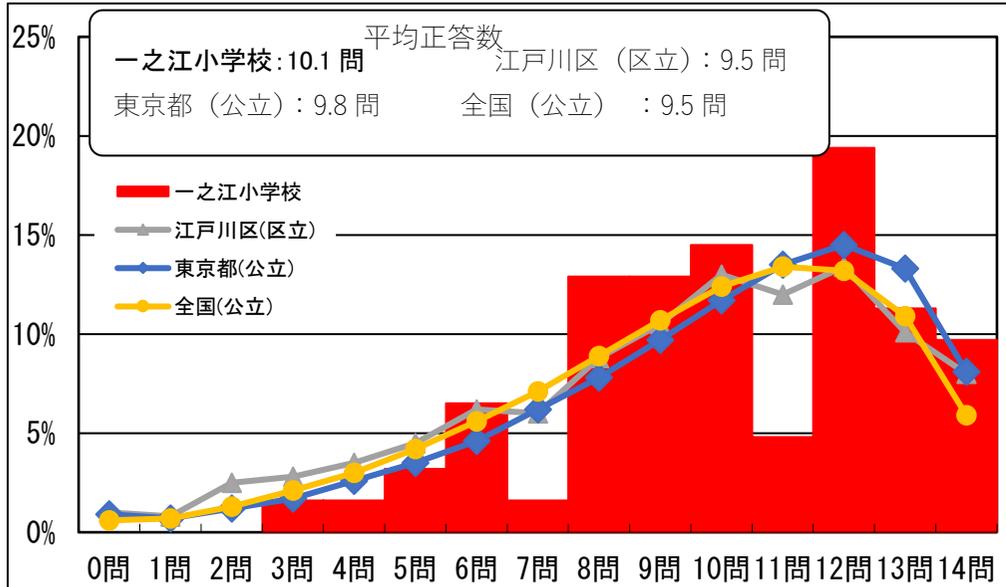
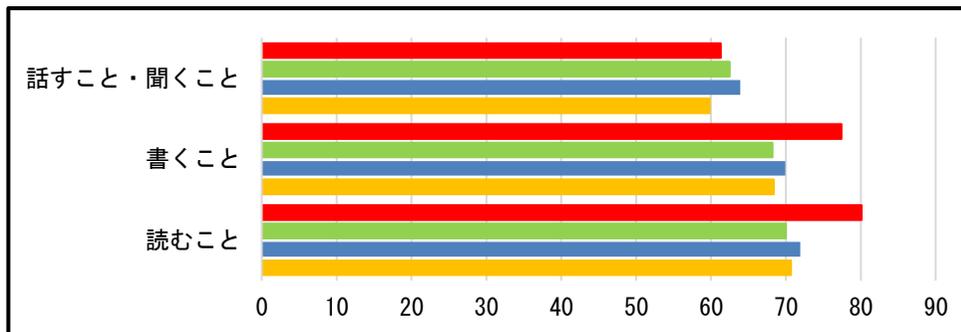
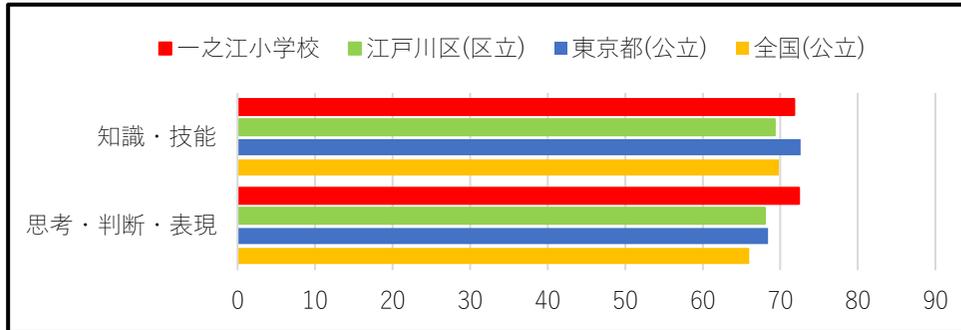


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 一之江小学校

正答率



「領域別」の注目



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12～14問	B層 10～11問	C層 8～9問	D層 0～7問
一之江小学校	40.4	19.3	25.8	14.5
江戸川区 (区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都 (公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国 (公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

【平均正答率の差】

一之江小学校	72%
江戸川区 (区立)	68%
東京都 (公立)	70%
全国 (公立)	67.7%
都との差	+2ポイント
区との差	+4ポイント

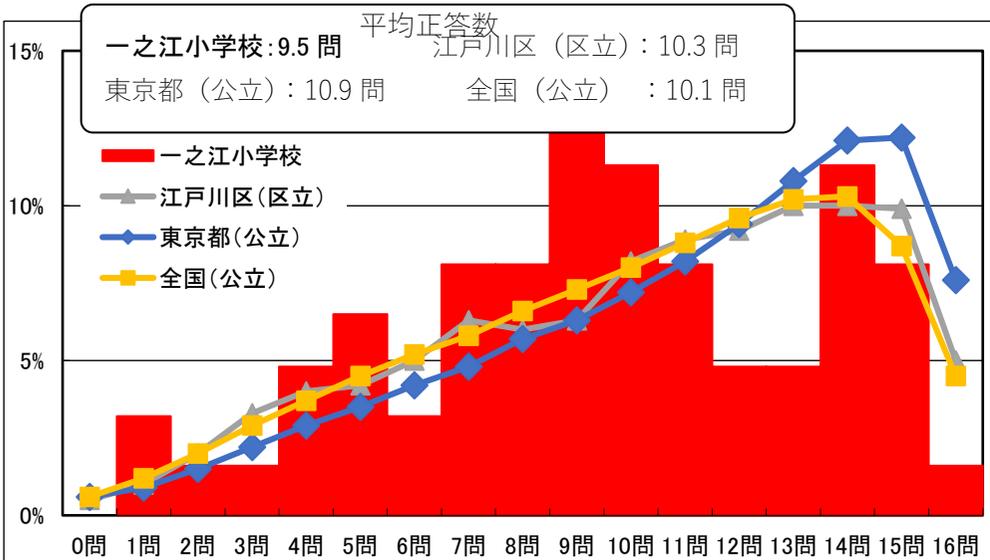
【分析結果と授業改善に向けて】

- ・D層が少なく、全体の底上げができています。
- ・領域では、「書くこと」「読むこと」で区・都・全国の平均を上回っている。「書くこと」では、毎学期取り組んでいる読書紹介カードや、授業中ミライシードで自分の考えを書き、交流する活動の成果が出たといえる。
- ・「話すこと・聞くこと」の力をさらに伸ばしていきたい。そのために、各教科の授業で、友達と意見を交流する機会を設定し、要点を整理しながら話を聞く力や、自分の考えを分かりやすくアウトプットする力を身に付けさせていく。

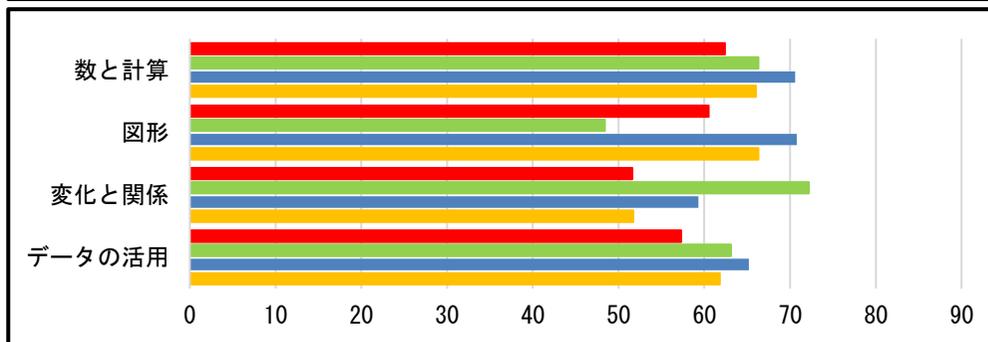
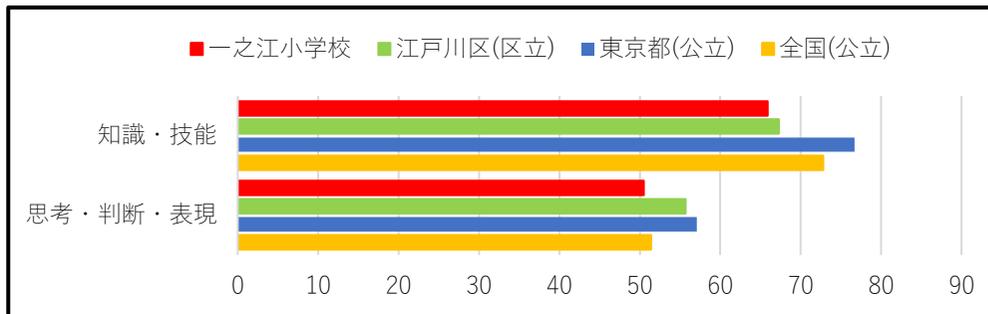
四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 一之江小学校

正答率



「領域別」の注目



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
一之江小学校	20.9	21.0	24.2	25.8
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

一之江小学校	59%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	-9ポイント
区との差	-5ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・ 図形以外の領域で区の平均を下回っている。
- ・ 朝学習の時間や宿題を通してC層、D層の底上げを図っていく。
- ・ 「図形」は区の平均を上回っている。今後、「図形」の領域では発展的な課題にも取り組み、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる機会とする。
- ・ 「変化と関係」と「データの活用」のように複数の数値を扱う問題の正答率が低くなっている。各単元で練習問題を行う際、一問一答形式だけではなく、複数の情報の処理が必要な問題に取り組ませていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。